

Makuhari's Memory

一期一会、出会いの奇跡に感謝

令和6年能登半島地震の発災から間もない時期、受講当時、被害の全容把握ができていない状況の中ではありますが、研修に送り出していただいた上司、同僚、家族には心からお礼を申し上げます。

「児童虐待防止対策」研修の講義、演習内容は充実しており、講師の方々には基本的なことから最新の情報まで丁寧にレクチャーしていただきました。すべての基本が「子どもの最善の利益」であり、子育て支援、虐待対応の大きな指標であることを再認識しました。また、課題演習は毎日討議を重ねることで、新たな視点や発想のヒントを得ることができ、大きな成果となりました。今後の業務遂行につなげ、社会全体のウェルビーイングを目標とした取組となるように努めていきたいと思えます。

日本全国から集結した受講生と、情報や意見を交換するうちに、みな同じ課題があり、同じ悩みを抱えていることが分かりました。自治体の規模、おかれた環境や立場にそれぞれ違いがあるものの、みな熱意に満ちた同じ志を持った「同志」であり、

心強い存在でありました。共に学んだ同志たちから多くの刺激を受け、自身の励みにもなりました。SNSの普及で、画面越しで手軽で簡単につながりが持てる時代ではありますが、顔と顔を合わせて会話を交わすことで、人と人がつながる心地よさや温もりを改めて感じることができ、出会いの奇跡に感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが、アカデミーの運営にご尽力いただいた職員様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



牧 悟

石川県小松市
こども家庭部子育て支援課主査
〈受講研修科目〉
児童虐待防止対策
第37期第1組（令和5年度）